

活動報告書 ～ PET サマーセミナー 2022 in 甲府を開催して～

大会長 山梨 PET 画像診断クリニック院長 佐藤葉子
副大会長 山梨大学医学部放射線科教授 大西 洋

この度、山梨医学会より令和4年度の学会助成金を受け、7月29日（金）～31日（日）、山梨県甲府市・甲府記念日ホテルを会場に PET サマーセミナー 2022 in 甲府を現地開催（＋後日オンデマンド配信）のハイブリッド形式で開催させていただきました。多くの皆さまのサポートにより、新型コロナウイルス感染症の第7波のピークという大変な状況にもかかわらず、現地参加293名、オンデマンド参加136名、合計429名の登録をいただき、3日間、大きな事故もなく無事終了することができました。

PET サマーセミナーは、日本核医学会・PET 核医学分科会の学術集会として、毎年夏季に全国の PET 施設が持ち回りで運営を行い、2泊3日のセミナーを開催しています。PET 検査に携わる医師、診療放射線技師、薬剤師、看護師など多職種の学びと交流の場となっており、通常の学術集会よりも参加者同士の距離が近く、私を含め多くの参加者が楽しみにしている会です。

当施設が2022年大会開催の打診を受けたのが2019年8月で、甲府大会ではワインを片手に皆で PET について大いに語りあおう、と期待に胸を膨らませていました。しかし2020年に入り、新型コロナウイルス感染症がまん延し始めたため、準備期間は多くの事項の変更が相次ぎ、開催そのものも危ぶまれる時期もありました。

2022年に入り、次第に「With コロナ」という考えも浸透してきたため、対面でのセミナー開催を目指して「現地開催」の方針は変更せず、スタッフ一丸となって準備を進めました。感染対策として、エクスカージョンと懇親会を見合わせる、プログラムを圧縮してソーシャルディスタンス確保のための広い会場を用意するなどの工夫をしました。開催当日は、久しぶりに直接顔を合わせた喜びの声が会場内のあちこちで聞かれました。感染対策のために人数に比して広い会場を確保する必要があった一方、現地参加者の大幅減が予想されたため、予算的に大変厳しい大会となりました。また会場費を抑えるため、スケジュールもタイトになりましたが、参加者には熱心に聴講・討論していただくことができました。

このような状況であったため、協賛金を集めることには大変苦労しましたが、山梨医学会様には多大なご支援をいただき、心より感謝申し上げます。今後も、山梨県のがん診療に邁進していく所存ですので、引き続き山梨 PET 画像診断クリニックおよび山梨大学放射線科を、よろしくお願い申し上げます。